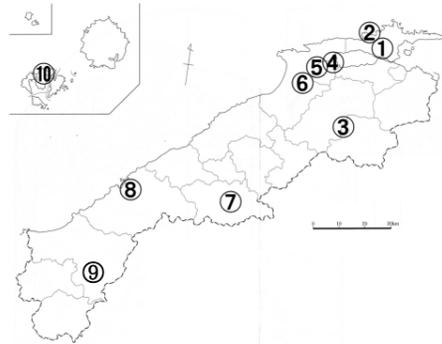


No.2	時代	弥生時代	遺跡	荒神谷遺跡（斐川町）加茂岩倉遺跡（雲南市）など
------	----	------	----	-------------------------

日本最多の青銅器出土地

島根県の荒神谷遺跡と加茂岩倉遺跡からは、他の地域では見られないような大量に埋納された青銅器が見つっています。それらの青銅器は、いずれも国宝に指定されました。大正時代には上条遺跡（浜田市）や中野仮屋遺跡（邑南町）でも銅鐸が発見されています。

遺跡名	出土地	銅鐸	銅剣	銅矛	銅戈	備考
① 西川津遺跡	松江市西川津町	2				
② 志谷奥遺跡	松江市鹿島町	2	6			
③ 加茂岩倉遺跡	雲南市加茂町	39				
④ 神庭荒神谷遺跡	斐川町神庭	6	358	16		
⑤ 真名井遺跡	出雲市大社町		(3)			
⑥ 青木遺跡	出雲市東林木	1				飾耳のみ
⑦ 中野仮屋遺跡	邑南町中野	2				
⑧ 上条遺跡	浜田市上府町	2				
⑨ 水田ノ上遺跡	益田市匹見町				1	
⑩ 竹田遺跡	海士町竹田		1			
	(松江市竹矢町)		1			平浜八幡宮所蔵
	(松江市八雲町)		1			伝熊野銅鐸
	(奥出雲町)		1			横田八幡宮所蔵
	(雲南市木次町)		1			伝木次銅鐸
	(出雲地域?)		1			伝出雲銅鐸・木幡家所蔵
	(島根県)		1			
合計		57	368	16	2	



島根県の青銅器出土地

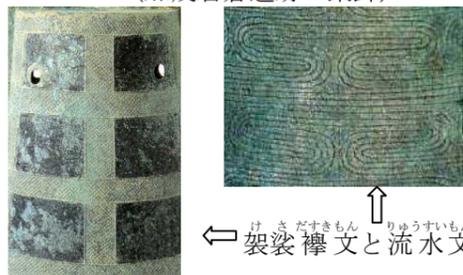
遺跡名	遺跡・青銅器の特徴
③加茂岩倉遺跡	1966年に銅鐸39個を発見。大きな銅鐸の中に小さな銅鐸が入る「入れ子」の状態。「人面」、「トンボ」など様々な生き物の文様。
④荒神谷遺跡	1984年に銅剣358本を発見。翌年、銅鐸6個、銅矛16本を発見。整然とした埋納状態。銅剣の柄のほとんどに「X」刻印がある。
⑦中野仮屋遺跡	近畿地方で作られた銅鐸の出土地点としては、日本最西端。
⑧上条遺跡	近畿系銅鐸の特徴は、流水文と袈裟襷文。

学習のポイント

- 島根県ではいろんな場所で青銅器が発見されている。また、一カ所に大量埋納された遺跡がある。
- 銅鐸の表面には様々な文様が描かれている。



トンボが描かれている
(加茂岩倉遺跡の銅鐸)



袈裟襷文と流水文
(中野仮屋遺跡の銅鐸)



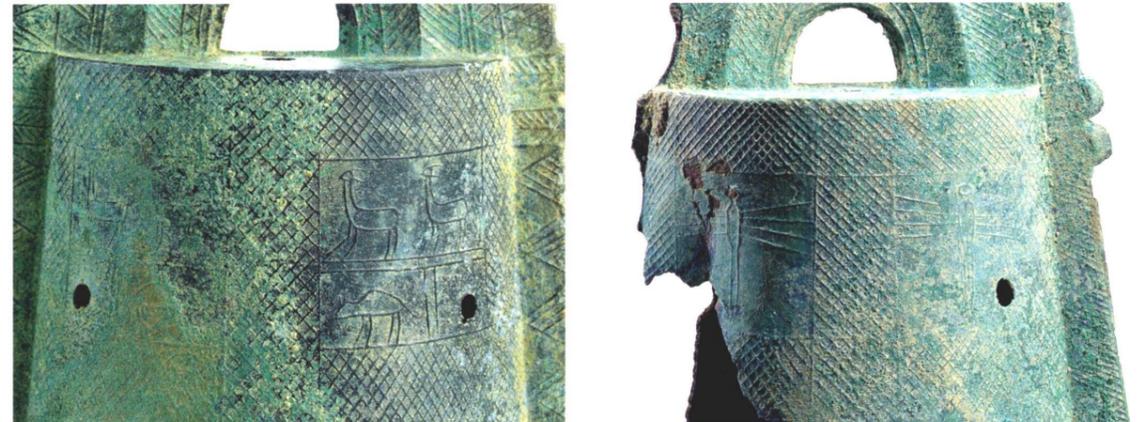
整然と埋納された青銅器 (荒神谷遺跡)



日本最多の青銅器出土地

荒神谷遺跡（斐川町）と加茂岩倉遺跡（雲南市）からは、他の地域では見られないような大量に埋められた青銅器が見つっています。それらの青銅器は、いずれも国宝に指定されました。大正時代には浜田市や邑南町でも銅鐸が発見されています。

加茂岩倉遺跡の銅鐸です。どんな生き物がいるかわかるかな？



荒神谷遺跡（斐川町）で銅剣が発見されたときの様子です。銅剣は全部で何本ぐらいでしょうか？

ア 158本 イ 258本 ウ 358本



中野仮屋遺跡（邑南町）で発見された銅鐸

の文様です。何を表しているのだろう？



加茂岩倉遺跡の銅鐸
(全部で39個)

